RITSUMEIKAN UNIVERSITY

「博士課程後期課程 入学試験要項」は、
博士課程前期課程の入学試験要項に引き続いて掲載しています。

立命館大学大学院 入学試験要項 2027

Ritsumeikan University Graduate School Application Guidelines

（2027 年 4 月入学／ April 2027 Enrollment）

デザイン・アート学研究科

Graduate School of Science in Arts and Design

博士課程前期課程 ・一般入学試験（1 年制・2 年制）

■大学院入試情報サイトに掲載している「入学試験要項（研究科共通）」もあわせて確認してください。

■不測の事態により入学試験要項の記載内容に変更が生じた場合は、「立命館大学大学院入試情報サイト」（https://www.ritsumei.ac.jp/gr/）でお知らせします。

立 命 館 大 学

目　　次

〈博士課程前期課程〉

デザイン・アート学研究科の人材育成目的と３方針…… 1

Ⅰ．入学試験方式・募集人数・日程等…… 4
1. 入学試験方式・募集人数
2. 日程
3. 入学検定料

Ⅱ．出願資格・要件…… 5

Ⅲ．出願前の事前相談…… 6

Ⅳ．出願書類一覧…… 6
1. 出願書類
2. 注意事項
3. ポートフォリオの提出

Ⅴ．出願書類の提出 10

Ⅵ．選考方法・受験票…… 11
1. 選考方法
2. 受験票

Ⅶ．合格発表…… 12

Ⅷ．長期履修制度…… 13

出願前の個別審査について（該当者のみ）…… 15

出願書類様式 17

＊以下の事項は「入学試験要項（研究科共通）」で確認してください。

・出願手順について
・出願上の注意事項
・大学院入学資格について
・入学試験受験にあたって
・入学手続について
・学費およびその他納付金について
・奨学金・授業料減免・研究助成制度について
・過年度入学試験問題について
・受験生の個人情報の取り扱いについて

・TOEIC®、TOEFL® は Educational Testing Service（ETS）の登録商標です。
・TOEIC® L&R テストの「L&R」は、Listening & Reading の短縮形です。

博士課程前期課程

人材育成目的

デザイン・アート学研究科は、美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合して高度に発揮しながら他者と積極的に協働し、その能力の社会的意義と効用を評価することによって、多様な社会や組織において、フィジカルからデジタルに拡張し融合した未来社会を感性豊かに創造できる研究者および高度専門職業人を育成することを目的とする。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

デザイン・アート学研究科は、研究科則に規定する修了要件（必修科目を含む 30 単位以上を修得し、かつ修士論文または課題研究の審査に合格すること）を満たしたことをもって、以下の資質・能力（教育目標）が達成されたものとみなし、「修士（デザイン・アート学)」の学位を授与する。

①知識・技能

(1) フィジカルからデジタルに拡張し融合したデザイン・アートに関わる専門的な知識を戦略的に活用することができる。
(2) フィジカルからデジタルに拡張し融合したデザイン・アートに関わる専門的な技能を戦略的に活用することができる。
(3) 多様な社会や組織において、フィジカルからデジタルに拡張し融合した未来社会を感性豊かに創造できる。

②思考力・判断力、表現力等の能力

(1) 美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合して高度に発揮することができる。
(2) 多様な社会や組織において、デザイン・アートに関わる専門的な知識と技能を戦略的に活用してリーダーシップを発揮できる。
(3) 多様な社会や組織において、新たな社会活動を実践的に前進させ、組織運営を具体化できる。

③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

(1) 他者と積極的に協働し、デザイン・アートに関わる社会実践における新たな問題を汲み上げることができる。
(2) 他者と積極的に協働し、新しい研究領域を開拓してその対象や方法論を提起することができる。
(3) 他者と積極的に協働し、美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合して発揮される能力の社会的意義と効用を評価することができる。

教育課程・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【カリキュラム構成の方針】

人材育成目的に掲げた人材を育成するために、デザイン・アート学研究科のカリキュラムは、研究科則に規定される所定単位を修得することを前提に、以下の研究指導科目群、新領域デザイン・アート学基盤科目群、新領域デザイン・アートランゲージ科目群により構成される。

○研究指導科目

ディプロマ・ポリシー（DP）に設定した以下の能力を育成するために、研究指導科目を開設する。

・他者と積極的に協働し、デザイン・アートに関わる社会実践における新たな問題を汲み上げることができる。(DP ③ (1))
・他者と積極的に協働し、新しい研究領域を開拓してその対象や方法論を提起することができる。(DP ③ (2))
・他者と積極的に協働し、美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合して発揮される能力の社会的意義と効用を評価することができる。(DP ③ (3))

この科目では、研究指導を受けながら、修士論文または課題研究の完成に向けた活動に取り組む。特にここで多様な社会実践者および研究者との協働によって身につけられる社会的研究実践スキルは、修了後に多様な社会や組織において活躍するためのキャリア形成に資するものとなる。

○新領域デザイン・アート学基盤科目群

ディプロマ・ポリシー（DP）に設定した以下の能力を育成するために、新領域デザイン・アート学基盤科目群を開設する。

・美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合して高度に発揮することができる。(DP ② (1))
・多様な社会や組織において、デザイン・アートに関わる専門的な知識と技能を戦略的に活用してリーダーシップを発揮でき

る。(DP ② (2))
・多様な社会や組織において、新たな社会活動を実践的に前進させ、組織運営を具体化できる。(DP ② (3))

この科目群では、デザイン・アートに関する研究領域に特化した研究方法論やリサーチ手法、アカデミックライティングなどを学ぶ。

特にここで多様な社会実践者および研究者との対話によって理解されるあるべき社会のビジョンとその実現のための方法論は、フィジカルからデジタルに拡張し融合した未来社会を感性豊かに創造する役割を担う修了後のキャリア形成に資するものとなる。

○新領域デザイン・アートランゲージ科目群

ディプロマ・ポリシー（DP）に設定した以下の能力を育成するために、新領域デザイン・アートランゲージ科目群を開設する。

・フィジカルからデジタルに拡張し融合したデザイン・アートに関わる専門的な知識を戦略的に活用することができる。(DP ① (1))
・フィジカルからデジタルに拡張し融合したデザイン・アートに関わる専門的な技能を戦略的に活用することができる。(DP ① (2))
・多様な社会や組織において、フィジカルからデジタルに拡張し融合した未来社会を感性豊かに創造できる。(DP ① (3))

この科目群は、「理論」と「技能」に区分され、「理論」では、意味・情報・環境・社会の 4 視座から学び、「技能」では、アートの視座からデジタル造形表現やフィジカル造形表現を学ぶことに加え、理系視座・文系視座の双方からデザイン・アートに関わる実践の評価法について学ぶ。なお、理論と技能の双方に社会実践スキル科目（デザインリーダーシップ論やファシリテーションデザイン演習）を配置する。

特にここで身につけられるデザイン・アートに関わる知識と技能およびその戦略的な活用方法は、修了後に職域を問わず多様な社会や組織において活躍するためのキャリア形成に資するものとなる。

【学修方法と学修成果の評価方針】

本研究科のカリキュラムは、キャンパス内／まち・地域内に留まらず、「社会全体がラーニングプレイス」というコンセプトに基づき、大学の学びをキャンパスやまち・地域の外へと広げ、多様な社会での研究の「場」、企業や社会との連携を重視した実践的な研究の「機会」を創出するとともに、デジタル・インフラもフルに活用した多様な学びと研究の手法を取り入れながら実践される。

研究指導科目では、修士論文または課題研究の完成に向けた活動に取り組むため、学修の成果を主に研究進捗報告、口頭発表、研究・制作プロセスをまとめたポートフォリオなどによって評価する。

新領域デザイン・アート学基盤科目群および新領域デザイン・アートランゲージ科目群では、プロジェクトベースの探究活動を基本とし、グループワーク、実習、フィールドワークなどの実践的な学びを通じて、学生が美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に発揮できるよう設計する。これらの科目では、学修の成果を主に制作物やその制作プロセスをまとめたポートフォリオ、プロジェクト成果物、論文、報告書、展示・プレゼンテーション、口頭試問などによって評価する。

〈修士論文の評価基準〉

1. 研究課題がユニークであるか（研究課題の独創性）
2. 研究目的が学術的および社会的に意義あるものになっているか（研究目的の学術的および社会的意義）
3. 先行研究・事例が検討・吟味され、到達点が踏まえられているか（先行研究・事例との関連性）
4. 調査・実験・制作・分析・評価などにおいて方法が適切か（研究方法の適切性）
5. 研究成果が学術的および社会的に有用であるか（研究成果の有用性）
6. 論理的な構成となっているか（論理の一貫性）
7. 論文として一定の書式に準拠した書き方（表現、表記、注、引用、文献、形式などを含む）がなされているか（書式・文量の適切性）
8. 口頭試問において論文内容の説明および質疑応答が適切に行えたか（口頭試問における論文内容についての応答の適切性）

〈課題研究の評価基準〉

1. 課題研究は、「制作物」とそれについて論じた「報告論文」を提出するものとする。
2. 「制作物」は、実践を含み、研究が扱う領域や実務に対して実効性のある課題解決や先見性のある問題提起がなされ、実社会に対して新たな価値のある提案と考察が行われているかどうかを評価する。
3. 「報告論文」の評価の規準は、修士論文評価基準に準じる。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【求める学生像】

デザイン・アート学研究科では、以下の資質・能力を備えた学生を求めます。

①知識・技能

美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に発揮し、フィジカルからデジタルに拡張し融合したデザイン・アートに関わる専門的な知識と技能を戦略的に活用するための、学部卒業レベルの知識と技能を有している者。

②思考力・判断力、表現力等の能力

美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に発揮するために、デザイン・アートに関わる専門的な知識と技能に基づく意思決定や行動によって、多様な社会や組織においてリーダーシップを発揮する意欲と基礎力を持つ者。

③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に発揮し、他者との協働とその省察を通した社会実践活動を通して、デザイン・アート領域における新たな問題を汲み上げ、新しい研究領域を開拓するための努力を惜しまない者。

Ⅰ．入学試験方式・募集人数・日程等

1. 入学試験方式・募集人数

専攻	専修	入学試験方式	募集人数
デザイン・アート学専攻	1年制：新領域デザインストラテジー専修 新領域アートディレクション専修	一　般　一般入学試験	15名
	2年制：—	一　般　一般入学試験	5名

・出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。
・1年制の学生の専修は、自身の研究指導担当教員が所属する専修に準じます。

2. 日程

実施時期	出願期間	試験日	試験予備日	合格発表日	対象入学試験方式
11月	2026年9月3日（木） ～2026年9月17日（木）	2026年 11月7日（土）	2026年 11月14日（土）	2026年 11月26日（木）	一　般
1月	2026年11月26日（木） ～2026年12月10日（木）	2027年 1月30日（土）	2027年 2月6日（土）	2027年 2月18日（木）	

・「Ritsu-Mate」での出願登録は、出願期間初日の10：00（日本時間）から可能です。
・災害等により「試験日」に入学試験を実施できないと大学が判断した場合のみ、「試験予備日」に入学試験を延期します。「試験予備日」に入学試験を延期する場合は「Ritsu-Mate」ならびに「研究科ウェブサイト」で告知します。不測の事態により急遽延期となる場合もありますので、試験日が近づきましたら確認するようにしてください。

3. 入学検定料

35,000円

・出願期間内に納入してください。
・納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、PayPal、Alipayもしくは海外送金を利用してください。詳細は『「入学試験要項（研究科共通）」1. 出願手順について⑶入学検定料について』を参照してください。

Ⅱ．出願資格・要件

※出願資格・要件において「見込み」で受験し、合格した者が、入学前日の 2027 年 3 月 31 日までに「見込み」を解消できない場合は、入学を許可しません。
※大学院の授業内容を理解できる程度の日本語能力を必要とします。
※外国の学校教育課程の年数や取得した学位の取扱い等、下記に該当するかどうか少しでも疑問や不明な点がある場合は、必ず事前の個別審査申出期限前（15 ページ参照）にデザイン・アート学部・研究科事務室に照会してください。
※最終学歴が中国の 3 年制の大学（専科）の者など、最終学歴が中国の大学であり『「入学試験要項（研究科共通）」2. 出願上の注意事項⑵証明書類の提出について【中国の大学にかかわる証明書】』の基準を満たしていない者は、事前の個別審査が必要です。個別審査については 15 ページを参照してください。

⑴ 大学＊を卒業した者または本研究科入学までに卒業見込みの者
＊学校教育法第 83 条の大学（わが国の大学における学部の正規の課程）
⑵ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
⑶ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
⑷ 外国の大学その他の外国の学校（＊ 1）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（＊ 2）により、学士の学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者（平成 28 年文部科学省令第 19 号）
⑸ 外国の学校が行う通信教育をわが国において履修することにより当該国の学校教育における 16 年の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
⑹ わが国において、文部科学大臣が外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
⑺ 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
⑻ 旧制大学等を修了した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号第 1 号～第 4 号、昭和 30 年文部省告示第 39 号第 1 号）
⑼ 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者（昭和 28 年文部省告示第 5 号第 5 号～9 号、昭和 30 年文部省告示第 39 号第 2 号）
⑽ 教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校もしくは幼稚園の教諭もしくは養護教諭の専修免許状または一種免許状を有する者もしくは本研究科入学までに取得する見込みの者で 22 歳以上の者もしくは本研究科入学までに 22 歳に達する者、その他教育職員免許状を有する文部科学大臣の指定した者（本研究科入学までに指定の要件を満たす見込みの者を含む）（昭和 28 年文部省告示第 5 号第 10 号～第 12 号）
⑾ 飛び級入学により大学院に入学した者であって、本学大学院において大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（＊ 3）
⑿ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳以上の者または本研究科入学までに 22 歳に達する者（＊ 3）

＊ 1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。
＊ 2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより当該課程を修了することおよび当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号（＊ 1）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。
＊ 3 ⑾または⑿により出願しようとする者は出願に先立ち個別審査を行いますので、15 ページを参照のうえ所定の期日までに必要な手続きをとってください。

一　般

出願資格・要件の⑴～⑿のいずれかに該当する者。なお、以下に該当する者は日本語能力試験（JLPT）レベル N1

合格、もしくは日本留学試験（EJU）の「日本語」読解、聴解・聴読解 /280 点以上かつ記述 /35 点以上の日本語能力を有していることが必要です。

※日本留学試験（EJU）については、2025 年度第 1 回および第 2 回、2026 年度第 1 回および第 2 回を対象とする。ただし、出願時点において試験結果が公開されていること。

・Ⅱ．出願資格・要件⑶⑷⑸のいずれかに該当する者。（ただし、日本語を母語とする者を除く。）

・わが国における「留学」の在留資格を有する者または本研究科入学までに取得する予定の者で、Ⅱ．出願資格・要件の⑴～⑻または⑽～⑿のいずれかに該当する者。

Ⅲ．出願前の事前相談

不要（出願にあたり、研究内容等について、事前に教員と相談する必要はありません。）

Ⅳ．出願書類一覧

1. 出願書類

証明書の提出等、出願上の注意事項については、『「入学試験要項（研究科共通）」2. 出願上の注意事項』を参照してください。

本学が様式を指定している出願書類については、本入学試験要項の巻末に綴っています。出願書類の提出方法については、10 ページを参照してください。

志願する入学試験方式の欄を確認し、各書類の説明を確認してください。

	書類名	入学試験方式	
		一般（1年制）	一般（2年制）
⑴	入学試験志願票	○	○
⑵	外国籍志願者情報	△	△
⑶	卒業（見込）証明書	○※	○※
⑷	成績証明書	○※	○※
⑸	志望理由書および研究計画書	○	○
⑹	英語能力試験の成績証明書	○	○
⑺	ポートフォリオ	○	○
⑻	履歴書	△	△
⑼	職務経歴書	△	△
⑽	ポートフォリオにかかわる誓約書	○	○
⑾	日本語能力を証明する書類（コピー可）	△	△
⑿	学位授与証明書もしくは学位授与申請受理証明書	△	△
⒀	教育職員免許状の授与証明書	△	△
⒁	長期履修制度申請書	－	□
⒂	在職証明書	－	□

○：必須、△：該当者のみ、□：希望者のみ、－：不要

※出願時点において、本大学の学部に正規生として在籍する者は提出不要

⑴ **入学試験志願票**

「Ritsu-Mate」で出願情報登録後にダウンロードして印刷し、顔写真を貼付したもの

※顔写真：3ヶ月以内に撮影した、肩より上、無帽、無背景のカラー写真（縦 3 cm ×横 2.4 cm）写真は加工・補正をしないでください。

⑵ **外国籍志願者情報【様式 GS 1】**

日本国籍を有しない者のみ

⑶ **卒業（見込）証明書**

出願資格・要件にかかわる出身学校のもの（原本）

※外国の大学を修了した者については、学位の取得が確認できること

【中国の大学を卒業または卒業見込みの者※台湾、香港、マカオの大学は含まない】

卒業（見込）証明書に代えて、以下の書類を印刷して提出してください。

〈卒業した者〉

「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」（「教育部学历证书电子注册备案表」の英語版）

〈卒業見込みの者〉

「Online Verification Report of Student Record」（「教育部学籍在线验证报告」の英語版）

⑷ **成績証明書（原本）**

出願資格・要件にかかわる出身学校のもの

⑸ **志望理由書および研究計画書【様式 DA 1】**

「入学後に指導を希望する教員」の欄には第 2 希望まで記述してください。

⑹ **英語能力試験の成績証明書**

以下の英語能力試験を対象とし、①～②のうち、いずれかひとつを提出してください。

いずれも該当する入学試験の試験日から起算し、過去 2 年以内に受験したものとします。

	試験種類	提出書類
①	TOEIC®L&R テスト ※公開テスト、IP テスト、オンラインのいずれも可	公開テストの公式認定証（原本）または個人宛スコアレポート（原本）※1
②	TOEFL iBT® テスト ※ TOEFL iBT® Home Edition も可	Score Report（PDF のスコアを印刷し、提出）※2

※ 1「TOEIC® L&R テスト（オンライン）」ではスコアレポート（原本）が発行されないことの代替措置として、テスト結果を紙出力したものの提出を認めます。

※ 1「デジタル公式認定書」の場合は、プリントアウトのうえ提出してください。

※ 2「 MyBest™ スコア」は採用しません。

⑺ **ポートフォリオ**

詳細は 8～9 ページを参照してください。

⑻ **履歴書（市販用紙）**

出願時点で職業経験を有する者のみ。但し、職業経験の年数および出願時の在職の有無は問わない。

※アルバイト、パートタイム等の雇用形態による勤務、短期間のインターンは含みません。

※⑼ 職務経歴書を提出する方は、本書面も提出してください。

⑼ **職務経歴書（任意書式）**

出願時点で職業経験を有する者のみ。但し、職業経験の年数および出願時の在職の有無は問わない。

在職中に本人が行った業務内容の概要と業績をリスト化したものを提出してください。

※⑻　履歴書を提出する方は、本書面も提出してください。

⑽　**ポートフォリオにかかわる誓約書【様式 DA 2】**

⑾　**日本語能力を証明する書類（コピー可）**

以下に該当する者は日本語能力を証明する書類を提出すること。

・Ⅱ．出願資格・要件⑶⑷⑸のいずれかに該当する者。（ただし、日本語を母語とする者を除く。）

・わが国における「留学」の在留資格を有する者または本研究科入学までに取得する予定の者で、出願資格・要件の⑴〜⑻または⑽〜⑿のいずれかに該当する者。

日本語能力を証明する書類として、以下の①②のいずれかを提出すること。

①日本語能力試験（JLPT）レベル N1（1 級）の合格を示す「合否結果通知書」または「認定結果及び成績に関する証明書」※点数の記載があること

②日本留学試験（EJU）の「日本語」（読解、聴解・聴読解 280 点以上、記述 35 点以上）の「成績確認書」または「成績通知書」など、受験番号が確認できるもの

※ 2025 年度第 1 回および第 2 回、2026 年度第 1 回および第 2 回を対象とする。ただし、出願時点において試験結果が公開されていること。

⑿　**学位授与証明書もしくは学位授与申請受理証明書（原本）**

Ⅱ．出願資格・要件⑵で出願する場合のみ

⒀　**教育職員免許状の授与証明書（原本）**

Ⅱ．出願資格・要件⑽で出願する場合のみ

⒁　**長期履修制度申請書【様式 DA 3】**

長期履修制度による入学を希望する者のみ（※詳細は 13 ページを参照してください。）

⒂　**在職証明書（書式自由）**

長期履修制度による入学を希望する者のみ（※詳細は 13 ページを参照してください。）

2. 注意事項

⑴　「出願書類」に記入および「Ritsu-Mate」に入力する氏名は、『「入学試験要項（研究科共通）」2. 出願上の注意事項⑴氏名の記入方法』を参照してください。

⑵　一旦提出された書類は理由の如何にかかわらず返却しません。

3. ポートフォリオの提出

【ポートフォリオについて】

・以下①〜④の内容を 1 つの PDF にまとめて、USB メモリで提出すること。PDF は A4 サイズで 20 ページ以内、100MB 以内とし、PDF のファイル名は「氏名 _ ポートフォリオ」とすること。

①表紙（氏名を記載すること）

②作品

③活動実績

④説明資料（作品や活動実績について解説した概要、コンセプト、プロセスがわかる資料）

※作品制作を行っていない者については、①表紙、③活動実績、④説明資料のみのポートフォリオでも構わない。

・ポートフォリオは、作品や活動実績に関する資料をわかりやすくまとめたものとする。

・1 年制の志願者については、主に仕事や社会活動におけるアウトプットのポートフォリオとする（2 年制の志願者についてはアウトプットの時期は問わない）。

・ポートフォリオに収録する作品について、自身が制作した作品であれば、内容および作品数は自由とする。学校や美術予備校などの課題で制作した作品でも、自主制作の作品でも提出物として認める。また、作品の

基本情報（作品名、サイズ、制作時期、素材・画材等）を明記すること。受賞歴などがある場合、あわせて記載すること。

・共同制作の作品については、志願者本人の役割、分担部分を明記したスタッフ一覧なども記載すること。
・動画データを提出する場合は、視聴できるようにあらかじめ YouTube などにアップロードし、ポートフォリオ内に URL を記載すること（動画データ自体の提出は不要）。また、URL 先の動画について、合格発表日まで変更しないこと。
・活動実績については、自身のこれまでの取り組みでアピールしたいことを記載すること。現在取り組んでいることに関するものでも構わない（例：卒業論文に関する内容、各種イベントの企画運営）。
・説明資料については、作品や活動実績についての解説、作品のコンセプト、取り組みのプロセスをまとめたものとする。

提出の際の注意

・**使用言語は日本語に限ります。**日本語以外の作品・提出物については日本語に訳したものをあわせて提出してください。
・「ポートフォリオにかかわる誓約書」の内容に虚偽が判明した場合は、出願資格を取り消します。また、合格後に虚偽が判明した場合は、入学許可を取り消します。
・提出されたポートフォリオは返却しません。作品のマスター素材は提出しないでください。
・ポートフォリオの PDF を印刷したものについては提出不要です。必ず USB メモリで提出してください。
・上記の条件を満たさないポートフォリオは、提出がなかったものとみなします。

Ⅴ．出願書類の提出

1. 出願書類の提出

出願期間内に入学検定料を納入のうえ、所定の出願書類を提出してください。
出願用の封筒は提出物すべてが同封できるサイズのものを自ら用意してください。出願書類の提出は郵送に限ります（出願期間最終日の消印有効）。
出願書類の到着状況は、自身が利用したサービスの追跡サイト等で確認してください。提出された書類に不備がある場合は、デザイン・アート学部・研究科事務室から連絡します。

〈日本国内から出願する場合〉

① A4 サイズの書類が折らずに入る封筒を用意してください。
②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

〈日本国外から出願する場合〉

① A4 サイズの書類が折らずに入る封筒を用意してください。
②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

2. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 デザイン・アート学部・研究科事務室
〒 603-8577 京都府京都市北区等持院北町 56-1　電話（075）466-3003（直通）

Ⅵ. 選考方法・受験票

1. 選考方法

一　般

⑴ **選考方法**

書類選考、論述試験、口頭試問を総合評価し、合格者を決定します。

①書類選考

②論述試験※

③口頭試問

⑵ **試験時間割**

「Ritsu-Mate」にてお知らせします。

⑶ **試験会場**

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします。）

※論述試験について

論述試験においては、予め論述試験のテーマおよび参考文献を示し、試験当日に論述を求めます。出願書類確認後、「Ritsu-Mate」にて論述試験のテーマおよび参考文献等、詳細をお知らせします。目安となる時期は以下のとおりです。

実施時期	[Ritsu-Mate] 論述試験のテーマおよび参考文献の発表
11 月	10 月初旬
1 月	12 月下旬

2. 受験票

受験票は試験日の約 1 週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。印刷したうえで試験当日に持参してください（『「入学試験要項（研究科共通）」4. 入学試験受験にあたって⑵受験票について』参照）。

Ⅶ. 合格発表

合否結果は合格発表日の 10：00 に「Ritsu-Mate」で発表します。あわせて合格者には合格発表日当日に、入学手続きについてご案内します。
入学手続については、『「入学試験要項（研究科共通）」5. 入学手続について』を参照してください。

「立命館大学大学院 入試情報サイト」URL
https://www.ritsumei.ac.jp/gr/exam/supplement.html/
※合否結果に関するお問い合わせには一切お答えできませんのでご了承ください。

〈在留資格「留学」の取得について〉

- 在留資格を新規に取得する者、および入学までに在留カードの在留期限が切れる者は、入学までに在留資格の新規取得または在留期間更新の手続きが必要です。なお、在留資格の新規取得が必要な者が 1 月実施入学試験で合格した場合、入学までに在留資格取得が間に合わない可能性がありますので合格後速やかに入学手続きを行ってください。在留資格を新規に取得する者、および入学までに在留カードの在留期限が切れる者は、11 月実施入学試験の出願を推奨します。
- 出願時に在留カードを有していても、退学や卒業などの事由で在留カードが無効となる場合があります。その場合はご自身で在留資格を更新するか、修学可能な別の在留資格に変更するか、新規に取得する必要があります。

Ⅷ. 長期履修制度

1.「長期履修制度」概要

本制度は、博士課程前期課程・修士課程・専門職学位課程に入学する者を対象とし、在学中に職業を有することにより、学修・研究時間を充分に取ることが出来ず標準修業年限で修了することが困難な場合、標準修業年限を超え、在学年限（4 年）の範囲内の期間において計画的に教育課程を履修することを目的とした制度です。

2. 申請資格

「一般入学試験」を受験する者で、勤務時間を理由として標準修業年限（2 年）での修了が困難である者。
※ 1 年制を志望するものは対象としない。

3. 申請方法

⑴申請書類

①「長期履修制度申請書」【様式 DA 3】

申請書の「申請理由」にはつぎの内容を記入してください。

・長期履修制度を申請する理由

・長期履修が許可された場合の履修・研究計画

②在職証明書（勤務先が発行するもの）

⑵申請書類の提出について

入学試験出願時に、上記の申請書類を他の出願書類と共に送付してください。

4. 審議

提出された書類を基に、研究科委員会の議を経て、研究科長が在学年限を上限として長期履修の許可または不許可を決定します。

5. 学費

長期履修が許可された場合の授業料は、標準修業年限（2 年）で納入する授業料総額を、長期履修が許可された年限内（在学を予定している年限）で納入していただきます。
ただし、入学手続時に納入する授業料は、標準修業年限で在学する場合の春学期分授業料の金額となります。
※端数処理の関係上、学期ごとに納入する金額の総額が、標準修業年限で納入する授業料総額と異なる場合があります。
※入学金および諸会費は別途納入する必要があります。
※学費額等については、立命館大学大学院入試情報サイトにてご確認ください。（2026 年 6 月以降 公開予定）

6. 長期履修が許可された年限を変更する場合

原則として長期履修が許可された年限で履修し修了することとします。ただし、やむを得ず許可された年限を変更する必要がある場合は、変更手続きを期日までに行ってください。学費の取り扱いを変更します。

①長期履修が許可された年限より延長する場合

延長した学期の授業料については、標準修業年限を超過した学生と同様、通常の授業料の半額を適用します。

②長期履修が許可された年限より短縮する場合

既に納入された授業料総額と標準修業年限内での授業料総額との差額を算出し、不足する金額について、修了を短縮した場合の学期で納入いただくこととなります。なお、一度短縮が承認され、その後延長することになった場合、延長した学期の授業料については、通常の授業料の半額を適用します。

出願前の個別審査について（該当者のみ）

本学大学院では、大学院教育の活性化等を図る観点から、社会人等であって大学院で学修を行う意欲と能力を有する個人について、大学院教育を受ける機会を提供するため、学歴に関する出願資格を有しない者を対象に出願前の個別の入学資格審査を行います。本学大学院の行う個別審査によって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者には、大学院入学試験への出願が認められます。
個別審査により出願資格を得ることが認められている入学試験方式において個別審査を希望する者は、所定の期日までに必要な手続きをとってください。
なお、出願資格の有無について少しでも不明な点がある場合は必ず審査申出期限前にデザイン・アート学部・研究科事務室に照会してください。
※個別審査はあくまで入学資格の有無にかかわる審査であり、入学者選抜とは別個のものですので、この審査に合格した後にさらに入学試験を受ける必要があります。

1. 手続手順

Step1：審査申出期限までに個別審査を希望する旨をデザイン・アート学部・研究科事務室に申し出る。
▼
Step2：審査に必要な提出書式を受領する。
▼
Step3：指定された審査書類提出期限までにデザイン･アート学部・研究科事務室に必要書類を提出する。
▼
Step4：審査結果の通知を受け取り、合格であれば、入学試験要項に基づき出願をする。

2. 審査方法

書類審査（必要に応じて面接を行う場合があります）

3. 審査内容

つぎのような個々人の学修歴や実績の情報などに基づいて、大学を卒業したと同等以上の学力があると認められるか審査を行います。
・専修学校、各種学校等の課程の修了等の学修歴等
・社会における実務経験や取得した資格等
・大学の正規学生、科目等履修生として修得した一定の単位
・その他、旧制諸学校で修了した課程の内容

4. 審査申出期限・審査書類提出期限

〈審査申出期限〉
いずれの入学試験方式においても、出願受付開始の 3 週間前までに、デザイン・アート学部・研究科事務室まで個別にお問い合わせください。
〈審査書類提出期限〉
別途指示します。

5. 提出書類

一旦受理した書類は、理由の如何にかかわらず返却しません。

提出書類	備考
①個別審査の申請書（兼履歴書） ②志望理由書・研究計画書等 ③学歴や在学中の成績を証明する書類の原本（コピー不可） （例：卒業証明書、在籍証明書、成績証明書等） ④その他、個別に提出を指示する書類	・①②の様式はデザイン・アート学部・研究科事務室に照会してください。 ・本人の希望により、その他証明書、論文、作品、資料などを添付することを認めます。

6. 提出先・問い合わせ先

立命館大学 大学院入学試験　デザイン・アート学部・研究科事務室
〒 603-8577 京都府京都市北区等持院北町 56-1
メールアドレス　gsda@st.ritsumei.ac.jp

7. 審査費用

無料

8. 審査結果の通知方法

入学試験の出願期間最終日の 1 週間前までに郵送またはメールで通知します。

9. 審査結果の有効範囲・期限

研究科ごとに、同一の入学時期の入学試験に限り有効です。

出願書類の様式

様式一覧			ページ
GS	1	外国籍志願者情報	19
DA	1	志望理由書および研究計画書	21
	2	ポートフォリオにかかわる誓約書	25
	3	長期履修制度申請書	27

外国籍志願者情報／Application Sheet for Non-Japanese Applicants

該当する項目のみ記入・添付してください。
※日本国籍を有しない者のみ提出してください。多重国籍で日本国籍を有する者は提出不要です。
Complete only the sections that apply to you.
*Only required from applicants who do not have Japanese nationality.This form is not required if you have multiple citizenships that include Japanese nationality.

Ⅰ．在留資格について／Status of residence

以下のうち該当するものを選択☑・記入してください。／Complete only the sections that apply to you.

□ **A-1** 現在（出願時点）在留カードを有しておらず、入学時に在留資格「留学」を取得する予定である。
Currently (at the time of application), I do not have a Japanese Residence Card and I plan to obtain a "Student" status of residence at the time of enrollment.

□ **A-2** 現在（出願時点）在留カードを有しておらず、入学時に「留学」以外の在留資格を取得する予定である。
Currently (at the time of application), I do not have a Japanese Residence Card and I plan to obtain a status of residence other than "Student" at the time of enrollment.

□ **B-1** 現在（出願時点）、在留資格「留学」の在留カードを有している。
Currently (at the time of application) I have a "Student" status of Japanese Residence Card.
現在通っている学校の卒業（または退学）年月を記入し、以下貼付欄に在留カードのコピーを貼付してください。
Please write the scheduled date of graduation (or leaving) from the current educational institution and attach a copy of your residence card in the attachment area.

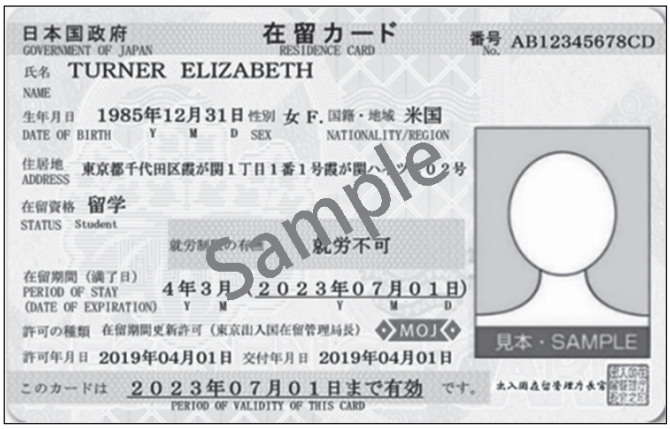
現在通っている学校の卒業（または退学）予定年月 Scheduled date of graduation (or leaving) from the current educational institution. *If you have already graduated (or left), enter the date of graduation (leaving).	(MM/YYYY)

□ **B-2** 現在（出願時点）、在留資格「留学」以外の在留カードを有している。
Currently (at the time of application) I have a Japanese Residence Card other than the “Student” status.
以下のうち該当するものを選択し、以下貼付欄に在留カードのコピーを貼付してください。
Select the following applicable items and please attach a copy of your residence card in the attachment area.
□ 入学までに在留資格「留学」へ変更する予定である。／I plan to change my status of residence to “Student” by the date of enrollment.
□ 在留資格「留学」へ変更する予定はない。／I do not plan to change my status of residence to “Student”.

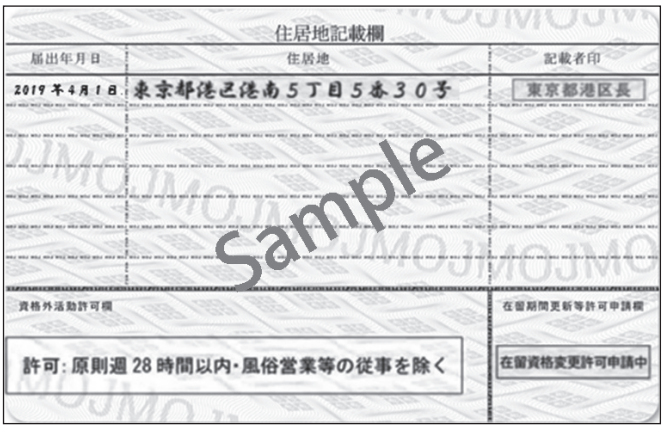
□ **C** 現在（出願時点）、特別永住者証明書や外務省発行の身分証明書、日米地位協定に基づく身分証明書を有している。
Currently (at the time of application), I have a Special Permanent Resident Certificate, an identification card issued by the Ministry of Foreign Affairs or an identification card based on the Status of Forces Agreement between Japan and the U.S.

〈在留カードのコピー（表裏両面）貼付欄／Attachment area of a Japanese Residence Card (Both sides)〉
※ B-1、B-2 に該当する者のみ／Only those who fall under B-1, B-2.

表面／Front of card



裏面／Back of card



Ⅱ．パスポートのコピーの提出／A photocopy of applicant’s passport information page

※出願時に有効期限内のパスポートを取得している者のみ（日本の永住権を有している方は提出不要）
*Only those who have a valid passport at the time of application (Permanent residents of Japan are not required to submit.)
パスポートの氏名・生年月日が記載されたページを A4 サイズの用紙にコピーし、本様式とあわせて提出してください。
Make a photocopy of your passport information page showing your name and date of birth on an A4-size paper and submit it together with this form.

GS1 copy of passport

Ⅲ．その他／Others

該当する項目のみ回答してください。／Complete only the sections that apply to you.

1．職歴／Work experience

勤務先（所在地）／Name of employer (Address)	勤務内容／Job description	勤務期間／Period of employment
		(MM/DD/YYYY)
		(MM/DD/YYYY)

2．兵役／Military service

開始／from	(MM/YYYY)	終了／End	(MM/YYYY)

以上のとおり、相違ありません。／I certify that the above statements are true and correct to the best of my knowledge.

日付／Date：(MM/DD/YYYY)　　氏名／Name：

2027. 4

デザイン・アート学研究科

博士課程前期課程

志望理由書および研究計画書

受験番号	（記入不要）	ふりがな 氏　名	
学　歴	大学　学部　学科　年　月　卒業・卒業見込 大学大学院　研究科　年　月　修了・終了見込		

入学後の研究テーマ	
修了後の進路予定	
卒業制作・論文等のタイトル	
1年制もしくは2年制どちらを志望するか（該当するものに○）	（　）1年制 （　）2年制

入学後に指導を希望する教員

第1希望
　指導教員氏名：

第2希望
　指導教員氏名：

第3希望
　指導教員氏名：

※研究科ウェブサイト等を参照のうえ、必ず第3希望まで記入してください。
※記入した指導教員を保障するものではありません。
※指導教員については、研究計画書等を踏まえ、入学以降に研究科にて指導教員を決定します。

デザイン・アート学研究科 博士課程前期課程の志望理由および研究計画
次の項目を必ずふまえて、2,000字程度で記入してください。ただし、6については文字数に含めません。
※4については1年制を志望する者のみ記入してください（2年制を志望する者は記入不要）。

1. 志望動機　2. 研究テーマ　3. 学部・大学院で学んだことと研究テーマとの関連
4. 仕事や社会活動を通じて得た問題意識と研究テーマとの関連（1年制を志望する者のみ）
5. 研究計画（目的、内容、研究方法、期待される研究成果）
6. 引用文献・参考文献一覧

※パソコン等での作成可・貼付可（貼付の場合は枠内に貼り付けてください）

2027. 4

※パソコン等での作成可・貼付可（貼付の場合は枠内に貼り付けてください）

2027. 4

※パソコン等での作成可・貼付可（貼付の場合は枠内に貼り付けてください）

2027. 4

様式 DA 2

デザイン・アート学研究科

ポートフォリオにかかわる誓約書

提出日：　　年　　月　　日

立命館大学大学院デザイン・アート学研究科長 殿

出願書類として提出したポートフォリオの全てが自身の制作・執筆であること、また本誓約書の記載内容に虚偽がないことをここに誓約します。

提出者記入日　　年　　月　　日

提出者氏名（自署）

〈証明者記入欄〉

出願書類として提出したポートフォリオ（掲載した作品含む）について、誓約者が制作・執筆したことを証明します。

証明者記入日　　年　　月　　日

証明者氏名（自署）

誓約者との間柄

連絡先（E-mail または電話番号）

※虚偽が判明した場合は、出願資格を取り消します。
　また、合格後に虚偽が判明した場合は、入学許可を取り消します。
※証明者記入欄について、親族、友人ではない第三者から証明を得てください。
※証明内容について、証明者に問い合わせをすることがあります。

2027. 4

様式 DA 3

デザイン・アート学研究科

受験番号（記入不要）

立命館大学大学院デザイン・アート学研究科長 殿

長期履修制度申請書

私は、在学中に職業を有することにより、学修・研究時間を充分に取ることが出来ず、標準修業年限で修了することが困難であり、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを希望します。

長期履修を希望する年限	年	修了希望年月	年　月

入学試験方式	一般入学試験（2 年制）		
氏　名			印
勤務先名称			
職　種		就業形態*1	
申請理由　＊記入内容は要項内の「長期履修制度について」をご覧ください。			

＊1　就業形態の記入例：正社員、契約社員、派遣社員 等

以下は記入不要

研究科受付	研究科審議	審議結果	研究科通知	財務部受付
年　月　日	年　月　日	許可・不許可	年　月　日	年　月　日
備考				

2027. 4

RITSUMEIKAN UNIVERSITY

立命館大学大学院 入学試験要項 2027

Ritsumeikan University Graduate School Application Guidelines

（2027 年4 月入学／ April 2027 Enrollment）

デザイン・アート学研究科

Graduate School of Science in Arts and Design

博士課程後期課程 | ・一般入学試験

■大学院入試情報サイトに掲載している「入学試験要項（研究科共通）」もあわせて確認してください。

■不測の事態により入学試験要項の記載内容に変更が生じた場合は、「立命館大学大学院入試情報サイト」（https://www.ritsumei.ac.jp/gr/）でお知らせします。

立命館大学

目　　次

〈博士課程後期課程〉

デザイン・アート学研究科の人材育成目的と 3 方針 …… 1

Ⅰ．入学試験方式・募集人数・日程等 …… 3
　１．入学試験方式・募集人数
　２．日程
　３．入学検定料

Ⅱ．出願資格・要件 …… 4

Ⅲ．出願前の事前相談 …… 4

Ⅳ．出願書類一覧 …… 5
　１．出願書類
　２．注意事項

Ⅴ．出願書類の提出 …… 7

Ⅵ．選考方法・受験票 …… 8
　１．選考方法
　２．受験票

Ⅶ．合格発表 …… 8

出願前の個別審査について（該当者のみ） …… 9

出願書類様式 …… 11

＊以下の事項は「入学試験要項（研究科共通)」で確認してください。

・出願手順について
・出願上の注意事項
・大学院入学資格について
・入学試験受験にあたって
・入学手続について
・学費およびその他納付金について
・奨学金・授業料減免・研究助成制度について
・過年度入学試験問題について
・受験生の個人情報の取り扱いについて

・TOEIC®、TOEFL® は Educational Testing Service（ETS）の登録商標です。
・TOEIC® L&R テストの「L&R」は、Listening & Reading の短縮形です。

博士課程後期課程

人材育成目的

デザイン・アート学研究科デザイン・アート学専攻博士課程後期課程は、美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合して高度に発揮しながら他者と積極的に協働し、社会にその能力を敷衍するための学術的検証を行うことによって、多様な社会および学術領域において、フィジカルからデジタルに拡張し融合した未来社会を感性豊かに創造できる研究者および高度専門職業人を育成することを目的とする。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

デザイン・アート学研究科博士課程後期課程は、研究科則に規定する修了要件（必修科目24単位を修得し、かつ博士論文の審査に合格すること）を満たし、以下の資質・能力を備えた者に対して、「博士（デザイン・アート学）」の学位を授与する。

①知識･技能

(1) フィジカルからデジタルに拡張し融合したデザイン・アートに関わる高度な専門性に基づく知識を戦略的に活用することができる。
(2) フィジカルからデジタルに拡張し融合したデザイン・アートに関わる高度な専門性に基づく技能を戦略的に活用することができる。
(3) 多様な社会および学術領域において、フィジカルからデジタルに拡張し融合した未来社会を感性豊かに創造できる。

②思考力･判断力、表現力等の能力

(1) 美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合して高度に発揮することができる。
(2) 多様な社会および学術領域において、デザイン・アートに関わる高度な専門性に基づく知識と技能を戦略的に活用してリーダーシップを発揮できる。
(3) 多様な社会および学術領域において、新たな社会活動および研究活動を実践的に前進させ、組織運営を具体化できる。

③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

(1) 他者と積極的に協働し、デザイン・アートに関わる社会実践および学術研究における新たな問題を汲み上げることができる。
(2) 他者と積極的に協働し、美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合して発揮される能力を社会に敷衍するための学術的検証を行うことができる。
(3) 他者と積極的に協働し、新しい研究領域を開拓してその対象や方法論を提起し、自らの研究を学術論文として公表することができる。

教育課程・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【カリキュラム構成の方針】

人材育成目的に掲げた人材を育成するために、デザイン・アート学研究科博士課程後期課程のカリキュラムは、研究科則に規定される所定単位を修得することを前提に、以下の研究指導科目、新領域デザイン・アート学応用プロジェクト科目により構成される。

○研究指導科目

ディプロマ・ポリシー（DP）に設定した以下の能力を育成するために研究指導科目を開設する。
・他者と積極的に協働し、デザイン・アートに関わる社会実践および学術研究における新たな問題を汲み上げることができる。（DP③（1））
・他者と積極的に協働し、美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合して発揮される能力を社会に敷衍するための学術的検証を行うことができる。（DP③（2））
・他者と積極的に協働し、新しい研究領域を開拓してその対象や方法論を提起し、自らの研究を学術論文として公表することができる。（DP③（3））
この科目では、研究指導を受けながら、博士論文の完成に向けた活動に取り組む。
特にここでの多様な研究者および社会実践者との対話や、その取り組みの分析によって理解されるあるべき社会のビジョンとその実現のための方法論は、フィジカルからデジタルに拡張し融合した未来社会を感性豊かに創造する役割を担う修了後のキャリア形成に資するものとなる。

○新領域デザイン・アート学応用プロジェクト科目

ディプロマ・ポリシー（DP）に設定した以下の能力を育成するために、新領域デザイン・アート学応用プロジェクト科目を開設する。
・フィジカルからデジタルに拡張し融合したデザイン・アートに関わる高度な専門性に基づく知識を戦略的に活用することができる。（DP①（1））
・フィジカルからデジタルに拡張し融合したデザイン・アートに関わる高度な専門性に基づく技能を戦略的に活用することができる。（DP①（2））
・多様な社会および学術領域において、フィジカルからデジタルに拡張し融合した未来社会を感性豊かに創造できる（DP①（3））
・美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合して高度に発揮することができる。（DP②（1））
・多様な社会および学術領域において、デザイン・アートに関わる高度な専門性に基づく知識と技能を戦略的に活用してリーダーシップを発揮できる。（DP②（2））
・多様な社会および学術領域において、新たな社会活動および研究活動を実践的に前進させ、組織運営を具体化できる。（DP②（3））

この科目では、専門領野の異なる複数の教員や研究者から考案されるデザイン・アートに関わる最新のテーマ・トピックに基づいた研究実践プロジェクトへ参画することによって、多様な領域において独自の研究を行う学生が集う本研究科博士課程後期課程における高度な専門性と研究知見の融合を図り、デザイン・アート領域の新たな実践知を生成・修得する。
特にここで研究実践プロジェクトに参画し、多様な研究者および社会実践者との協働によって身につけられる研究実践スキルは、修了後に職域を問わず多様な社会や組織において研究を実践するためのキャリア形成に資するものとなる。

【学修方法と学修成果の評価方針】
本研究科のカリキュラムは、キャンパス内／まち・地域内に留まらず、「社会全体がラーニングプレイス」というコンセプトに基づき、大学の学びをキャンパスやまち・地域の外へと広げ、多様な社会での研究の「場」、企業や社会との連携を重視した実践的な研究の「機会」を創出するとともに、デジタル・インフラもフルに活用した多様な学びと研究の手法を取り入れながら実践される。
研究指導科目では、博士論文の完成に向けた活動に取り組むため、学修の成果を主に研究進捗報告、口頭発表、ポートフォリオ、博士論文を構成する論文などによって評価する。
新領域デザイン・アート学応用プロジェクト科目では、プロジェクトベースの探究活動を基本とし、グループワーク、実習、フィールドワークなどの実践的な研究活動を通じて、学生が美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合して高度に発揮できるよう設計する。この科目では、学修の成果を主に制作物や　その制作プロセスをまとめたポートフォリオ、プロジェクト成果物、論文、報告書、展示・プレゼンテーションなどによって評価する。

〈博士論文の評価基準〉
1. 研究課題はデザイン・アート学研究科の博士論文として相応であり、ユニークであるか（博士論文にふさわしい研究課題の高度な独創性）
2. 研究目的が学術的および社会的に意義あるものになっているか（研究目的の学術的および社会的意義）
3. 先行研究・事例が検討・吟味され、到達点が踏まえられているか（先行研究・事例との関連性）
4. 調査・実験・制作・分析・評価などにおいて方法が適切か（研究方法の適切性）
5. 研究成果が学術的および社会的に有用であるか（研究成果の有用性）
6. 論理的な構成となっているか（論理の一貫性）
7. 論文として一定の書式に準拠した書き方（表現、表記、注、引用、文献、形式などを含む）がなされているか（書式・文量の適切性）
8. 公聴会において論文内容の説明および質疑応答が適切に行えたか（公聴会における論文内容についての応答の適切性）

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【求める学生像】
デザイン・アート学研究科博士課程後期課程では、以下の資質・能力を備えた学生を求めます。
①知識・技能
美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に発揮し、フィジカルとデジタルに拡張し融合したデザイン・アートに関わる専門的な知識と技能を戦略的に活用することができる者。
②思考力・判断力、表現力等の能力
美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に発揮するために、その能力の社会的意義と効用を評価しながら、デザイン・アートに関わる専門的な知識と技能に基づく意思決定や行動によって、多様な社会や組織においてリーダーシップを発揮することができる者。
③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に発揮するために、その能力の社会的意義と効用を評価しながら、デザイン・アートに関わる専門的な知識と技能に基づく意思決定や行動によって、多様な社会や組織においてリーダーシップを発揮することができる者。

【選抜のあり方と評価の方針】
デザイン・アート学研究科博士課程後期課程では、志願者の属性に合わせた入試方式を提供することで、志願者の能力や資質を総合的に評価する。

I.　入学試験方式・募集人数・日程等

1. 入学試験方式・募集人数

専攻	入学試験方式	募集人数
デザイン・アート学専攻	一　般　一般入学試験	5名

・出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

2. 日程

実施時期	出願期間	試験日	試験予備日	合格発表日	対象入学試験方式
1月	2026年11月26日（木） ～2026年12月10日（木）	2027年 1月30日（土）	2027年 2月6日（土）	2027年 2月18日（木）	一　般

・「Ritsu-Mate」での出願登録は、出願期間初日の 10：00（日本時間）から可能です。
・災害等により「試験日」に入学試験を実施できないと大学が判断した場合のみ、「試験予備日」に入学試験を延期します。「試験予備日」に入学試験を延期する場合は「Ritsu-Mate」ならびに「研究科ウェブサイト」で告知します。不測の事態により急遽延期となる場合もありますので、試験日が近づきましたら確認するようにしてください。

3. 入学検定料

35,000 円

・出願期間内に納入してください。
・納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、PayPal、Alipay もしくは海外送金を利用してください。詳細は『「入学試験要項（研究科共通）」1. 出願手順について ⑶入学検定料について』を参照してください。
・本学大学院の博士課程前期課程、修士課程または専門職学位課程を2026年9月修了（見込みを含む）または2027年3月修了見込みの者が引き続いて博士課程後期課程に進学するために出願する場合は、入学検定料の納入は不要です

II. 出願資格 ・ 要件

※出願資格・要件において「見込み」で受験し、合格した者が、入学前日の 2027 年 3 月 31 日までに「見込み」を解消できない場合は、入学を許可しません。
※外国の学校教育課程の年数や取得した学位の取扱い等、下記に該当するかどうか少しでも疑問や不明な点がある場合は、必ず事前の個別審査申出期限前（10ページ参照）にデザイン・アート学部・研究科事務室に照会してください。

⑴ 修士の学位もしくは専門職学位を有する者または本研究科入学までに授与される見込みの者
⑵ 外国において、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
⑶ 外国の学校が行う通信教育をわが国において履修し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
⑷ わが国において、文部科学大臣が外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
⑸ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
⑹ 大学等を卒業し、大学、研究所等において 2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（平成元年文部省告示第 118 号）（＊）
⑺ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳以上の者または本研究科入学までに 24 歳に達する者（＊）

＊ ⑹または⑺により出願しようとする者は出願に先立ち個別審査を行いますので、9ページを参照のうえ所定の期日までに必要な手続きをとってください。

一　般
出願資格・要件の⑴～⑺のいずれかに該当する者。

III. 出願前の事前相談

出願にあたっては、教員への事前相談が必要です。
出願希望者は、指導を希望する教員に申し出て、研究計画等について事前の相談を行い、その教員名を「志望理由書および研究計画書」【様式DA1】に記入してください。
※指導を希望する教員への申し出は、出願書類の受付期間に間に合うよう、余裕をもって行ってください。遅くとも出願期限の1か月前までには、教員への相談を開始することを推奨します。

〈指導を希望する教員への連絡方法〉
研究科ウェブサイトや研究者データベースでメールアドレスを公開している教員に対しては、直接メールにて申し出てください。

■研究科ウェブサイト
https://www.ritsumei.ac.jp/da/faculty/

■研究者学術情報データベース
https://research-db.ritsumei.ac.jp/rithp/TOP

※連絡先が公開されていない教員と連絡をとりたい場合は、希望する指導予定教員を明確にしたうえで、デザイン・アート学部・研究科事務室までメールを送付してください。
＜宛先＞gsda@st.ritsumei.ac.jp

IV. 出願書類一覧

1. 出願書類

証明書の提出等、出願上の注意事項については、『「入学試験要項（研究科共通）」2. 出願上の注意事項』を参照してください。
本学が様式を指定している出願書類については、本入学試験要項の巻末に綴っています。出願書類の提出方法については、7ページを参照してください。

志願する入学試験方式の欄を確認し、各書類の説明を確認してください。

	書類名	入学試験方式 一 般
⑴	入学試験志願票	○
⑵	外国籍志願者情報	△
⑶	修了（見込）証明書	○※
⑷	成績証明書	○※
⑸	志望理由書および研究計画書	○
⑹	英語能力試験の成績証明書	○
⑺	日本語能力を証明する書類（コピー可）	△※

○：必須、△：該当者のみ
※出願時点において、本大学の大学院に正規生として在籍する者は提出不要

⑴ 入学試験志願票

「Ritsu-Mate」で出願情報登録後にダウンロードして印刷し、顔写真を貼付したもの
※顔写真：3ヶ月以内に撮影した、肩より上、無帽、無背景のカラー写真（縦 3 cm ×横 2.4 cm）写真は加工・補正をしないでください。

⑵ 外国籍志願者情報【様式 GS 1】
日本国籍を有しない者のみ

⑶ 修了（見込）証明書

出願資格・要件にかかわる出身学校のもの（原本）。なお、個別の入学資格審査に合格し受験する場合は不要。
※外国の大学院を修了した者については、学位の取得が確認できること

【中国の大学院を修了または修了見込みの者※台湾、香港、マカオの大学は含まない
〈修了した者〉
修了証明書に代えて、以下の①、②の両方を印刷して提出してください。
①「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」（「教育部学历证书电子注册备案表」の英語版）
②「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」（「中国高等教育学位在线验证报告」の英語版）

〈修了見込みの者〉
修了証明書に代えて、以下の書類を印刷して提出してください。
「Online Verification Report of Student Record」（「教育部学籍在线验证报告」の英語版）

⑷ 成績証明書（原本）
出願資格・要件にかかわる出身学校のもの

⑸ 志望理由書および研究計画書【様式 DA 1】
出願前の事前相談（4ページ参照） を行った教員の氏名を記入したもの

⑹ 英語能力試験の成績証明書

以下の英語能力試験を対象とし、①～②のうち、いずれかひとつを提出してください。
いずれも該当する入学試験の試験日から起算し、過去 2 年以内に受験したものとします。

	試験種類	提出書類
①	TOEIC®L&R テスト ※公開テスト、IP テスト、オンラインのいずれも可	公開テストの公式認定証（原本）または個人宛スコアレポート（原本）※1
②	TOEFL iBT® テスト ※ TOEFL iBT® Home Edition も可	Score Report（PDF のスコアを印刷し、提出）※2

※1「TOEIC® L&R テスト（オンライン）」ではスコアレポート（原本）が発行されないことの代替措置として、テスト結果を紙出力したものの提出を認めます。

※1「デジタル公式認定書」の場合は、プリントアウトのうえ提出してください。

※2「 MyBest™ スコア」は採用しません。

⑺ 日本語能力を証明する書類（コピー可）

・Ⅱ．出願資格・要件⑵⑶p4.のいずれかに該当する者。

・わが国における「留学」の在留資格を有する者または本研究科入学までに取得する予定の者で、Ⅱ．出願資格・要件の⑴または⑷～⑺p4.のいずれかに該当する者。

日本語能力を証明する書類として、以下の①②のいずれかを提出すること（いずれもコピー可）。

①日本語能力試験（JLPT）レベル N1（1 級）の合格を示した「合否結果通知書」

②日本留学試験（EJU）の「日本語」（読解、聴解・聴読解 280 点以上かつ記述 35 点以上）であることを示した「成績確認書」または「成績通知書」など、受験番号が確認できるもの

※ 2025 年度第 1 回および第 2 回、2026 年度第 1 回および第 2 回を対象とする。ただし、出願時点において試験結果が公開されていること。

③上記書類を提出できない場合は、日本語能力確認書。【様式 DA 2】

※指導希望教員による確認方法・所見の記入が必要となります。

※出願時点において、本大学の大学院に正規生として在籍する者に対しては、提出を免除します。

※日本語基準による日本の大学を卒業した者、または日本の大学院博士課程、修士課程または専門職学位課程を修了した者または本学研究科入学までに修了見込みの者は、日本語能力を証明する書類の提出を免除します。免除希望者は、出身大学（大学院）から学部（大学院）の教育カリキュラムが日本語で実施されている旨を証明した書類の原本を提出してください。

2. 注意事項

⑴ 「出願書類」に記入および「Ritsu-Mate」に入力する氏名は、『「入学試験要項（研究科共通）」2. 出願上の注意事項 ⑴氏名の記入方法』を参照してください。

⑵ 一旦提出された書類は理由の如何にかかわらず返却しません。

V.　出願書類の提出

1. 出願書類の提出

出願期間内に入学検定料を納入のうえ、所定の出願書類を提出してください。
出願用の封筒は提出物すべてが同封できるサイズのものを自ら用意してください。出願書類の提出は郵送に限ります（出願期間最終日の消印有効）。
出願書類の到着状況は、自身が利用したサービスの追跡サイト等で確認してください。提出された書類に不備がある場合は、デザイン・アート学部・研究科事務室から連絡します。

〈日本国内から出願する場合〉

① A4 サイズの書類が折らずに入る封筒を用意してください。
②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

〈日本国外から出願する場合〉

① A4 サイズの書類が折らずに入る封筒を用意してください。
②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

2. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 デザイン・アート学部・研究科事務室
〒 603-8577 京都府京都市北区等持院北町 56-1

Ⅵ. 選考方法・受験票

1. 選考方法

⑴ 選考方法

書類選考および面接試験によって総合的に評価し、合格者を決定します。

①書類選考

②面接試験（研究計画書についての口頭試問も含む）

⑵ 試験時間割

「Ritsu-Mate」にてお知らせします。

⑶ 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします。）

2. 受験票

受験票は試験日の約 1 週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。印刷したうえで試験当日に持参してください（『「入学試験要項（研究科共通）」4. 入学試験受験にあたって ⑵受験票について』参照）。

Ⅶ. 合格発表

合否結果は合格発表日の 10：00 に「Ritsu-Mate」で発表します。あわせて合格者には合格発表日当日に、入学手続きについてご案内します。
入学手続については、『「入学試験要項（研究科共通）」5. 入学手続について』を参照してください。

「立命館大学大学院 入試情報サイト」URL
https://www.ritsumei.ac.jp/gr/exam/supplement.html/
※合否結果に関するお問い合わせには一切お答えできませんのでご了承ください。

〈在留資格「留学」の取得について〉

- 在留資格を新規に取得する者、および入学までに在留カードの在留期限が切れる者は、入学までに在留資格の新規取得または在留期間更新の手続きが必要です。なお、在留資格の新規取得が必要な者が 1月実施入学試験で合格した場合、入学までに在留資格取得が間に合わない可能性がありますので合格後速やかに入学手続きを行ってください。
- 出願時に在留カードを有していても、退学や卒業などの事由で在留カードが無効となる場合があります。その場合はご自身で在留資格を更新するか、修学可能な別の在留資格に変更するか、新規に取得する必要があります。

出願前の個別審査について（該当者のみ）

本学大学院では、大学院教育の活性化等を図る観点から、社会人等であって大学院で学修を行う意欲と能力を有する個人について、大学院教育を受ける機会を提供するため、学歴に関する出願資格を有しない者を対象に出願前の個別の入学資格審査を行います。本学大学院の行う個別審査によって、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者には、大学院入学試験への出願が認められます。
個別審査により出願資格を得ることが認められている入学試験方式において個別審査を希望する者は、所定の期日までに必要な手続きをとってください。
なお、出願資格の有無について少しでも不明な点がある場合は必ず審査申出期限前にデザイン・アート学部・研究科事務室に照会してください。
※個別審査はあくまで入学資格の有無にかかわる審査であり、入学者選抜とは別個のものですので、この審査に合格した後にさらに入学試験を受ける必要があります。

1. 手続手順

Step1：審査申出期限までに個別審査を希望する旨をデザイン・アート学部・研究科事務室に申し出る。
▼
Step2：審査に必要な提出書式を受領する。
▼
Step3：指定された審査書類提出期限までにデザイン・アート学部・研究科事務室に必要書類を提出する。
▼
Step4：審査結果の通知を受け取り、合格であれば、入学試験要項に基づき出願をする。

2. 審査方法

書類審査（必要に応じて面接を行う場合があります）

3. 審査内容

つぎのような個々人の学修歴や実績の情報などに基づいて、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められるか審査を行います。
・専修学校、各種学校等の課程の修了等の学修歴等
・社会における実務経験や取得した資格等
・大学の正規学生、科目等履修生として修得した一定の単位
・その他、旧制諸学校で修了した課程の内容

4. 審査申出期限 ・ 審査書類提出期限

〈審査申出期限〉
いずれの入学試験方式においても、出願受付開始の 3 週間前までに、デザイン・アート学部・研究科事務室まで個別にお問い合わせください。

〈審査書類提出期限〉
別途指示します。

5. 提出書類

一旦受理した書類は、理由の如何にかかわらず返却しません。

提出書類	備考
①個別審査の申請書（兼履歴書） ②志望理由書・研究計画書等 ③学歴や在学中の成績を証明する書類の原本（コピー不可） （例：卒業証明書、在籍証明書、成績証明書等） ④その他、個別に提出を指示する書類	・①②の様式はデザイン・アート学部・研究科事務室に照会してください。 ・本人の希望により、その他証明書、論文、作品、資料などを添付することを認めます。

6. 提出先 ・ 問い合わせ先

立命館大学 大学院入学試験　デザイン・アート学部・研究科事務室
〒 603-8577 京都府京都市北区等持院北町 56-1
メールアドレス gsda@st.ritsumei.ac.jp

7. 審査費用

無料

8. 審査結果の通知方法

入学試験の出願期間最終日の1週間前までに郵送またはメールで通知します。

9. 審査結果の有効範囲 ・ 期限

研究科ごとに、同一の入学時期の入学試験に限り有効です。

出願書類の様式

様式一覧			ページ
GS	1	外国籍志願者情報	12
DA	1	志望理由書および研究計画書	13
DA	2	日本語能力確認書	16

外国籍志願者情報 / Application Sheet for Non-Japanese Applicants

該当する項目のみ記入・添付してください。
※日本国籍を有しない者のみ提出してください。多重国籍で日本国籍を有する者は提出不要です。
Complete only the sections that apply to you.
*Only required from applicants who do not have Japanese nationality.This form is not required if you have multiple citizenships that include Japanese nationality.

Ⅰ・在留資格について / Status of residence

以下のうち該当するものを選択✓□・記入してください。／ Complete only the sections that apply to you.

□ **A-1** 現在（出願時点）在留カードを有しておらず、入学時に在留資格「留学」を取得する予定である。
Currently (at the time of application), I do not have a Japanese Residence Card and I plan to obtain a "Student" status of residence at the time of enrollment.

□ **A-2** 現在（出願時点）在留カードを有しておらず、入学時に「留学」以外の在留資格を取得する予定である。
Currently (at the time of application), I do not have a Japanese Residence Card and I plan to obtain a status of residence other than "Student" at the time of enrollment.

□ **B-1** 現在（出願時点）、在留資格「留学」の在留カードを有している。
Currently (at the time of application) I have a "Student" status of Japanese Residence Card.
現在通っている学校の卒業（または退学）年月を記入し、以下貼付欄に在留カードのコピーを貼付してください。
Please write the scheduled date of graduation (or leaving) from the current educational institution and attach a copy of your residence card in the attachment area.

現在通っている学校の卒業（または退学）予定年月 Scheduled date of graduation (or leaving) from the current educational institution. *If you have already graduated (or left), enter the date of graduation (leaving).	(MM/YYYY)

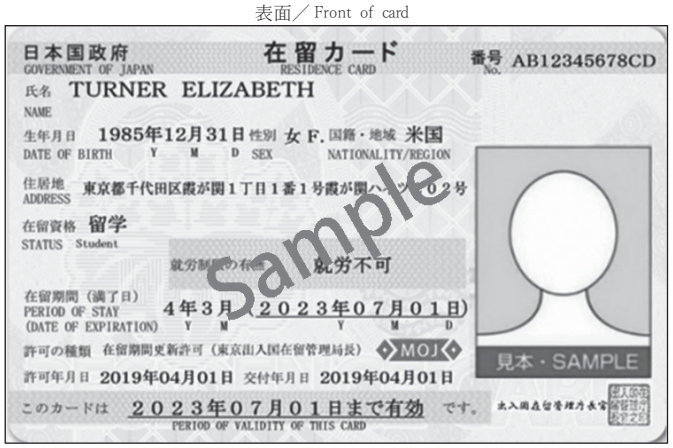
□ **B-2** 現在（出願時点）、在留資格「留学」以外の在留カードを有している。
Currently (at the time of application) I have a Japanese Residence Card other than the “Student” status.
以下のうち該当するものを選択し、以下貼付欄に在留カードのコピーを貼付してください。
Select the following applicable items and please attach a copy of your residence card in the attachment area.
□ 入学までに在留資格「留学」へ変更する予定である。／ I plan to change my status of residence to “Student” by the date of enrollment.
□ 在留資格「留学」へ変更する予定はない。／ I do not plan to change my status of residence to “Student”.

□ **C** 現在（出願時点）、特別永住者証明書や外務省発行の身分証明書、日米地位協定に基づく身分証明書を有している。
Currently (at the time of application), I have a Special Permanent Resident Certificate, an identification card issued by the Ministry of Foreign Affairs or an identification card based on the Status of Forces Agreement between Japan and the U.S.

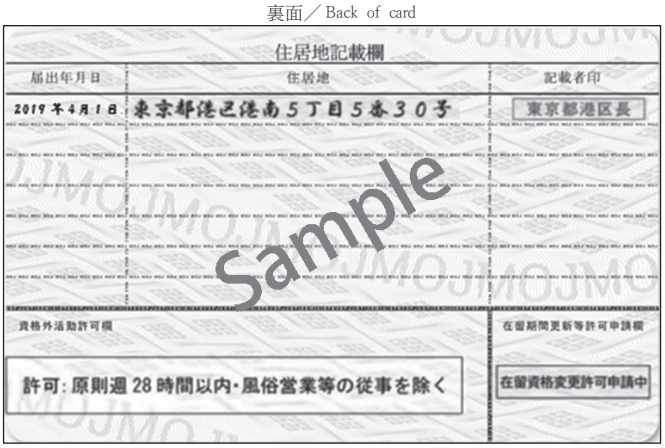
〈在留カードのコピー（表裏両面）貼付欄 / Attachment area of a Japanese Residence Card (Both sides)〉

※ B-1、B-2 に該当する者のみ／ Only those who fall under B-1, B-2.

表面／ Front of card



裏面／ Back of card



Ⅱ・パスポートのコピーの提出 / A photocopy of applicant’s passport information page

※出願時に有効期限内のパスポートを取得している者のみ（日本の永住権を有している方は提出不要）
*Only those who have a valid passport at the time of application (Permanent residents of Japan are not required to submit.)
パスポートの氏名・生年月日が記載されたページを A4 サイズの用紙にコピーし、本様式とあわせて提出してください。
Make a photocopy of your passport information page showing your name and date of birth on an A4-size paper and submit it together with this form.

GS1 copy of passport

Ⅲ・その他 / Others

該当する項目のみ回答してください。／ Complete only the sections that apply to you.

1. 職歴 / Work experience

勤務先（所在地）／ Name of employer (Address)	勤務内容／ Job description	勤務期間／ Period of employment
		(MM/DD/YYYY)
		(MM/DD/YYYY)

2. 兵役 / Military service

開始／ from	(MM/YYYY)	終了／ End	(MM/YYYY)

以上のとおり、相違ありません。 / I certify that the above statements are true and correct to the best of my knowledge.

日付／Date： (MM/DD/YYYY)　　氏名／Name：

2027. 4

デザイン・アート学研究科

博士課程後期課程

志望理由書および研究計画書

受験番号	（記入不要）	ふりがな 氏　　名	
学　　歴	大学　　学部　　学科　　年　　月　卒業・卒業見込 大学大学院　　研究科　　年　　月　修了・修了見込		
入学後の研究課題			
入学後に指導を希望する教員 （事前相談実施教員）			

デザイン・アート学研究科 博士課程後期課程の志望理由および研究計画
次の項目を必ずふまえて、2,000 字程度で記入してください。ただし、6 については文字数に含めません。

1. 志望動機　　2. 研究テーマ　　3. 学部・大学院での活動実績（研究や制作等）と研究テーマとの関連
4. 仕事や社会活動を通じて得た問題意識と研究テーマとの関連（該当者のみ）
5. 研究計画（目的、内容、研究方法、期待される研究成果）
6. 引用文献・参考文献一覧

2027. 4

2027.4

日 本 語 能 力 確 認 書

〈本人記入欄〉

志願者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

入学後に指導を希望する教員に下記項目の記入を依頼してください。

〈教員記入欄〉

教員氏名		日　付	
確認方法			
所　見			

2027. 4